

今般導入した 36t/h の炉筒煙管ボイラー稼働開始

今般稼働を開始した炉筒煙管ボイラーは蒸気製造量が 36t/h であり、国内の炉筒煙管ボイラーの中で最大容量のボイラーになります。

当ボイラーを第 2 プラントに増設することで、センタープラントとの連系を更に強化し、地区内への熱供給の安全性や信頼度を一層高めています。

当社設置の炉筒煙管ボイラー仕様

	第 2 プラント	センタープラント		
	新設機器	既設機器		
ボイラー容量	36 t/h	24 t/h	15 t/h	9.6 t/h
設置台数	1 台	1 台	1 台	1 台
ボイラー効率※ (エコマイザー回収量を 含む)	93%以上	92%以上		
設置年数	2010年	1988年	1993年	1988年

※ボイラーに供給される燃料の総熱量に対する発生蒸気の吸収熱量の割合

$$\text{ボイラー効率(\%)} = \frac{(\text{蒸発量}) \times (\text{蒸気の保有熱量} - \text{給水の保有熱量})}{(\text{燃料消費量}) \times (\text{燃料の発熱量})} \times 100$$



2010年12月 第2プラントに新設した 36 t/h の炉筒煙管ボイラー